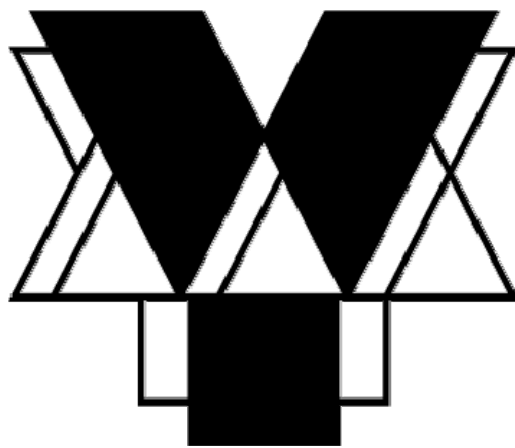


平成 2 3 年度

事業計画書



2 0 1 1（平成 2 3）年 7 月

【 目 次 】

I 事業方針	1
II 重点項目	1
1 予算の重点	1
2 主な新規・拡充事業等	1
III 事業計画	3
1 競技スポーツの推進事業【定款第4条第1項第1号、第4号】.....	3
2 地域スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】.....	4
3 健康・体力づくり事業【定款第4条第1項第1号、第3号】.....	5
4 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】.....	7
5 スポーツ情報の収集・提供/調査研究【定款第4条第1項第2号】.....	7
6 スポーツ施設運営事業【定款第4条第1項第5号】.....	9
7 スポーツ団体等育成事業・協会運営事業【定款第4条第1項第1号、第6号】...	15
IV 協約	17
V 中期経営計画	18

I 事業方針

当協会は、市民が生涯にわたって「する・観る・支える」といったスポーツ活動を楽しめるよう「いつまでもスポーツが楽しめる明るく豊かな社会の実現」に向けて事業を推進していきます。

その目的の達成のため、顧客需要の変動、情報や産業経済の動向など、変わりゆく社会情勢を踏まえ、当協会の個性や総合力を発揮した公益的各種事業を積極的かつ効率的に推進します。

II 重点項目

1 予算の重点

平成 23 年度は、横浜市と締結する「協約（平成 23 年度～平成 25 年度）」の一年目として、その協約目標の着実な達成に向けて「中期経営計画」を策定し、これから 3 か年の根幹をなす基本的な考え方としています。

平成 23 年度の予算は、横浜市の「中期 4 か年計画」のスポーツ振興施策の重点取組や外郭団体等経営改革の提言に応えるための取組みを推進していきます。

また、公益的使命等の実現強化に向けて、次の 6 つの項目を重点事業として予算編成をしました。

- (1) 競技スポーツの推進事業
- (2) 地域スポーツの推進事業
- (3) 健康・体力づくりの推進事業
- (4) スポーツ人材の養成・育成・活用事業
- (5) スポーツ情報の収集・提供と調査研究
- (6) スポーツ施設の運営事業

2 主な新規・拡充事業等

(1) 競技スポーツの推進事業

競技大会等の機会を多く提供することで、スポーツの普及・振興を推進します。

第 8 回都市間交流スポーツ大会を横浜市において、12 競技により開催します。

「2011 トライアスロン世界選手権シリーズ」では、トップアスリートの国際大会と、国内最大規模となる一般参加(2,000 人)の大会を開催します。

(2) 地域スポーツの推進事業

いつでも・誰でも・気軽にスポーツに親しむことができる環境を整えることで、地域のスポーツ活動の活性化を図ります。

金沢海の公園において、ビーチスポーツ5競技を主体とした YOKOHAMA ビーチスポーツフェスタを開催します。また、参加者自らが使用するコートやその周辺を清掃するビーチクリーン活動も実施します。

(3) 健康・体力づくりの推進事業

日常的に体を動かし、適切な運動習慣を身につけることを目指します。

学校の中休みや放課後等を活用して、子どもが関心を持てる運動やスポーツを紹介し、継続的に運動する機会を学校・地域と協力し提供していきます。

(4) スポーツ人材の養成・育成・活用事業

誰もが身近な場所で気軽にスポーツ活動が行える環境をつくるために、スポーツ指導者の養成や総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組むことで、地域スポーツの振興を図ります。

「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」と「人材活用システム」を一体化し、より一層地域のニーズに応える事業を展開します。

(5) スポーツ情報の収集・提供と調査研究

市民に役立つスポーツ情報の提供やスポーツに関する意識調査を行うことで、スポーツの普及・振興を推進します。

最新のスポーツ情報を提供するため、スポーツ情報サイトのリニューアルやスポーツ情報誌「SPORTよこはま」の内容を充実していきます。

(6) スポーツ施設の運営事業

安全・安心にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる「場・機会」を提供します。

新たに、横浜国際プールの次期指定管理者(平成23年度～平成27年度)として管理運営します。また、栄スポーツセンターは、栄公会堂と一元的に管理運営をします。

Ⅲ 事業計画

1 競技スポーツの推進事業【定款第4条第1項第1号、第4号】

(1) 競技スポーツ助成事業

各競技会・大会等の開催、種目団体・地域団体の活動に対して必要な経費を一部を助成します。

ア 都市間交流スポーツ大会

(開催地:横浜 実施競技数:12 競技 参加者数:500 人)

イ 市民体育大会(実施競技数:33 競技 参加者数:35,000 人)

ウ 市民マスタースポーツ大会(実施競技数:23 競技 参加者数:6,400 人)

エ 各区交流スポーツ大会(実施競技数:8 競技 参加者数:1,800 人)

オ 地元プロスポーツチームの支援(横浜熱闘倶楽部)

カ 横浜市ジュニア競技力向上事業(実施事業数:16 競技 参加者数:1,300 人)

(2) スポーツ大会支援事業

競技会・大会の開催を円滑に行うため、大会運営組織に参画して支援活動を行います。

ア 横浜マラソン大会

開催日:平成23年12月開催予定

会場:山下公園前スタート、山下ふ頭フィニッシュ

種目:ハーフマラソン・10Kmの部

参加者数:8,500 人

イ 2011トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会

横浜・山下公園をスタート、フィニッシュにした特設コース

① エリートの部(世界最高峰のトップアスリートの国際大会)

開催日:平成23年9月19日(祝日)

参加者数:150 名

② エイジの部(日本最大規模の一般大会)

開催日:平成23年9月18日(日)

参加者数:2,000 名

ウ 横浜シーサイドトライアスロン大会

開催日:平成23年10月23日(日)開催予定

会場:横浜市海の公園、横浜・八景島シーパラダイス、金沢工業団地周辺

参加者数:1,000 名

(3)スポーツ大会派遣事業

競技会・大会への選手派遣、選手選考に必要な経費の一部を助成します。

ア 市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会

開催日：平成 24 年 2 月 開催予定

会場：秦野～相模湖

参加者数：横浜市選手団 20 人

イ 全国健康福祉祭大会(ねんりんピック)参加選手選考

開催日：平成 23 年 6 月 12 日(日)までに実施

会場：三ツ沢テニスコート、磯子スポーツセンター、常盤公園弓道場、

境川グラウンド、山王テニスコート、横浜文化体育館、県立武道館

種目：ソフトテニス、卓球、弓道、ソフトボール、テニス、ダンススポーツ、
剣道

参加者数：560 人

(4)競技選手の個別支援

国体参加選手のメディカルチェック、競技選手の S P S ・体力測定・スキルチェック、スポーツによる障害の治療、リハビリテーション、予防等を行います。

ア SPS・体力測定・スキルチェック

開催日：年間を通じて実施

会場：スポーツ医科学センター

イ スポーツ障害の治療・リハビリテーション・予防

開催日：年間を通じて外来診療等で実施

会場：スポーツ医科学センター

2 地域スポーツ推進事業【定款第 4 条第 1 項第 1 号、第 5 号】

(1)地域スポーツ支援事業の実施

ア 総合型地域スポーツクラブ育成事業の実施

クラブの設立準備や運営・育成への助成とクラブが安定的に活動するための支援を行います。

また、「横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」と連携し、市域でのクラブ支援や啓発活動を展開することで、加盟クラブの事業活性化や総合型地域スポーツクラブの認知度向上を目指します。

イ 区体育協会等の地域団体との連携の強化

区体育協会をはじめとする地域のスポーツ関連団体との連携の強化や支援を実施し、地域でのスポーツ活動の活性化を進めます。

ウ さわやかスポーツの実施(76事業:参加人数 200,000名)

子どもから高齢者まで、誰でも気軽に行えるさわやかスポーツ(ソフトバレーボール・グラウンドゴルフ等)の普及事業を全区的に展開し、ニュースポーツの普及・推進を図るとともに、スポーツ実施にかかるノーマライゼーションを推進します。

また、市民にニュースポーツを体験する機会を提供するため全市的な「さわやかスポーツフェスティバル」を開催します。

エ エンジョイスports事業(教室数:17教室 参加人数:2,300名)

市民に多くの競技種目に親しんでもらうため、加盟競技団体の主催により初心者向けのスポーツ教室を開催します。

オ 10月の体育の日を中心とした横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催

各区スポーツセンター、市内野外活動施設及び大規模施設等において、市民が気軽に各種スポーツに参加できる「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル2011」を開催します。

(2)スポーツイベントの実施

スポーツの普及振興を図るため、各種スポーツイベントを開催します。

○YOKOHAMAビーチスポーツフェスタ

開催日：平成23年7月30日(土)、31日(日)、8月6日(土)、7日(日)

種目：ビーチバレー、ビーチサッカー、ビーチハンドボール、ビーチテニス、
ビーチ綱引き

会場：横浜市金沢区海の公園ビーチ

参加者数：3,400名

3 健康・体力づくり事業【定款第4条第1項第1号、第3号】

(1)子どもの体力向上事業

地域スポーツ団体や地域のボランティア等と協力し、学校等の身近な場所で子どもの体力向上支援の事業を実施します。

ア 子どもの体力向上支援(112団体)

保護者や地域指導者などと協力し、学校等の施設を活用しながら、小学校児童向けの体力向上支援や保護者等を対象とした運動啓発などの子どもの体力向上に資する事業を展開します。

イ スポーツ少年団

市内のスポーツ少年団を対象に、研修・交流事業、顕彰事業、市民向け事業、日本及び県スポーツ少年団主催のスポーツ交流大会への派遣事業等を行います。

ウ ぜん息児童の健康づくり事業(サマースクール参加児童数;104人、スポーツ医科学センターぜん息児水泳 30人)

ぜんそくの児童を対象としたサマースクール事業を、医師会、小学校等の協力を得て実施します。3泊4日の宿泊事業で、生活習慣の見直しにより児童が自ら健康を意識し運動の必要性を喚起するプログラムを実施します。

また、スポーツ医科学センタープールでは、ぜん息児水泳教室を実施します。

(2)健康づくり支援事業

超高齢社会の中、元気な高齢者を増やし、高齢になっても生き生きとした生活を維持することができる環境を整え、スポーツ・運動を習慣化するために各種事業を実施します。

ア 介護予防関連事業(312事業)

健康福祉局や各区福祉保健センター、包括支援センターが実施する高齢者がいつまでもいきいきと自立して生活できることを目的とした介護予防事業に、体力向上プログラム事業の受託、運動プログラムへの指導者派遣、介護予防事業従事者研修等を実施し、協力します。

イ 健康体力づくり派遣指導事業(163事業 参加者 5,530名)

地域における健康づくりを目的とした、各区福祉保健センターや地域ケアプラザ及び地域団体などからの運動指導依頼に応え、また、横浜市健康福祉局や横浜市老人クラブ連合会が主催している、高齢者向けの指導者養成講座に職員を派遣し、運動指導等を実施します。

ウ 健康づくり教材開発普及事業

市民の健康づくりの意欲向上を図ることを目的とした、当協会が開発した「はまちゃん体操」等の体協オリジナル教材を開発し、普及啓発事業を実施します。

エ 体力測定事業(72事業 参加者 1,800名)

区役所、地域施設、地域団体等の主催する「スポーツ事業」「健康づくり事業」において、体力測定や歩行フォームチェックなどを行い、アドバイスを通じて、地域の健康づくりの啓発を実施します。

(3)生活習慣病予防事業

メタボリック症候群、ロコモティブ症候群の予防のための生活指導、栄養指導、運動等を行い、運動習慣をつけることにより健康を維持、増進させます。

※メディカルエクササイズコース、特定健康診査・特定保健指導、減量教室・ロコモ教室

4 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】

(1) 地域スポーツ指導者養成・活用事業の実施

地域や各種目で活動できるスポーツ指導者を養成するために、各種講座や研修会を開催します。

ア 横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座の開催

講習会名	実施期間	会場	参加者数
健康・体づくりインストラクター養成講座	6月～10月	スポ ¹ 医科他	30人
地域クラブアシスタントマネージャー養成講座 (日体協公認)	6月～10月	スポ ¹ 医科他	30人
アウトドアルーダー(野外活動指導者)養成講座	6月～10月	道志他	30人
地域スポーツ研修	1月	スポ ¹ 医科	100人

イ 地域スポーツ指導者の活動促進

地域のスポーツ指導者を活用する「横浜市スポーツ人材活用システム」を引き続き運用し、地域における多様なスポーツ活動や健康維持・増進のための活動を積極的に活用します。

また、登録者の指導技術向上のためのスキルアップ研修を定期的実施し、地域での活動の場を拡げながらシステムを運用します。

(2) 指導者技術向上補助事業の実施

競技スポーツの指導技術・審判技術などの向上を目的に、横浜市体育協会加盟の種目団体が開催する研修会等に、経費の一部を助成します。

(3) ジュニア競技力向上事業

ジュニアスポーツ選手の養成のための強化練習やスポーツ医科学に基づくプログラムの作成を行います。また、競技指導者の能力向上を図るためスポーツ医科学の知識を備えたジュニアスポーツ指導者の養成を図ります。

○ジュニア競技力向上事業の実施

- ・ 合同強化練習の推進（再掲）
- ・ ジュニア医科学マルチサポートの実施
- ・ 医科学研修の開催

5 スポーツ情報の収集・提供/調査研究【定款第4条第1項第2号】

(1) スポーツ情報の収集・提供

ア スポーツ情報サイトの運営・拡充

スポーツ情報サイト「ハマスポどっとコム」により、横浜市内の最新のスポーツ・レクリエーション情報を幅広く収集・掲載・提供するため、スポーツ情報サイトのリニューアルを図ります。

また、市内で実施される事業と連動したサイト企画やアンケートを年1回以上実施し、提供している情報の到達度を把握します。(アクセス件数 6,525,000件)

① 「読む」コンテンツ

スポーツ情報センター職員による取材や市民などからの投稿を写真等を使って発信するほか、著名人コラム、市体協イメージキャラクターによるスポーツ漫画などを掲載し、市民・閲覧者にスポーツの楽しさや健康維持の大切さを伝えるとともに、スポーツに触れるきっかけづくりを行います。

また、スポーツ情報誌の特集記事を英語化し掲載します。

② 「健康づくり」コンテンツ

画面上でのトレーニングレッスンや閲覧者の運動記録管理、ウォーキングコースや健康遊具設置公園の案内などをすることで、サイトを通じた閲覧者の健康づくり支援を行います。

③ 「探す」コンテンツ

市内のスポーツ施設、サークル、教室・大会等の案内や結果、指導者紹介などの情報を、データベース化し、閲覧者が地図やカレンダーなどを使って検索できるようにします。また、PDF ファイル等を掲載することで、特にホームページを持っていないスポーツ団体等の情報について、市民に対する情報提供内容の充実を図ります。

④ 「仲間づくり」コンテンツ

対戦チームを探することができるハマスポマッチメイクや、読者間でのコミュニティづくりを促進する SNS (ソーシャルネットワークサービス) など、サイト上での閲覧者同士の交流の場を提供します。

イ スポーツ情報誌の発行

老若男女問わず易しく読めるスポーツ情報誌「SPORTSよこはま」を隔月4回(1号あたり16ページ、30,000部)発行し、市内各駅や公共施設等で無料配布します。特に、市民に役立つスポーツ情報や、季節に即した健康増進のためのテーマに基づいて、編集・発行します。

◆掲載内容

時節や流行に則した特集記事の掲載、市内プロスポーツチームの選手や関連イベントの紹介
スポーツ医科学センターによる健康関連情報の掲載、読者参加型企画の連載、
地域スポーツ活動や生涯スポーツへの取り組みの紹介、市体協関連イベントの紹介や報告 等

(2)スポーツに関する調査研究

社会環境の変化に伴う市民のスポーツ活動の動向や意義を把握し、今後のスポーツ施策の検討を進めるため、市民スポーツ意識調査等のスポーツに関係した調査・研究を行い、新たなスポーツ振興のための事業企画等に活用します。

(3)スポーツ医科学に関する情報の収集・提供及び調査研究

スポーツ医科学に関する情報の収集を行うとともに、「ハマスポどっとコム」や「SPORTSよこはま」により提供するとともに、スポーツ障害と予防等の研究を行います。

6 スポーツ施設運営事業【定款第4条第1項第5号】

(1)スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる場の提供事業

スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる場を提供するため、次の施設について安全・安心な管理運営を行います。

ア 横浜市のスポーツ施設・スポーツ医科学施設の管理運営

横浜市スポーツセンター（15施設）、横浜国際プール、横浜文化体育館、横浜市平沼記念体育館、横浜市青少年野外活動センター（4施設）、横浜市少年自然の家（2施設）、新横浜公園/日産スタジアム、横浜市スポーツ医科学センター

イ その他のスポーツ施設

屋外プール（2施設）、屋内プール（6施設）、テニスガーデン（3施設）、鶴見川漕艇場、横浜みなとみらいスポーツパーク、たきがしら会館

(2)スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる機会の提供事業

横浜市からの指定を受けたスポーツ施設やスポーツ医科学施設及びその他のスポーツ施設において誰でも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできるプログラムを提供します。

ア 横浜市各区スポーツセンター

横浜市各区スポーツセンター15館において、区民が身近なところで気軽にスポーツを楽しみ、健康の保持増進に努めることのできるよう、スポーツ・レクリエーション活動を推進します。

第2期指定管理者として施設の立地環境・区民ニーズ等を踏まえた事業を展開し、コスト削減を図るとともに、サービスの向上や効率的な広報活動により市民のスポーツ実施率の向上を図っていきます。

○教室事業

教室プログラムの充実を図り、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象にした教室展開と、年代別に多種目の教室を開催し、子育て世代がより参加しやすいよう託児サービス付の教室も全施設で開催します。

イ 横浜国際プール

今年度から新たに横浜市からの指定を受けた国内最大級の規模を有するスポーツ施設である横浜国際プールは、大型映像装置、4,000席の観客席等を備えたメインアリーナは、夏期は国際公認50mプール、冬期に3,000㎡のスポーツフロアとなります。

施設の特徴から、全日本級の大会・競技会を積極的に開催し、9月に全日本学生水泳競技選手権大会、12月にハンドボール全日本選手権大会を予定しています。

特に、11月からは、bjリーグ（日本プロバスケットボールリーグ）に正式参入が決定した横浜のプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」のホームゲームを12試合予定し、その他、関東・全日本クラスの大会を数多く開催します。

また、プールやトレーニングルームでの個人利用や一般市民への団体貸切利用に供するとともに、スポーツ系・文化系の各種教室を開催し、市民サービスの向上を図り市民に親しまれる施設運営を目指します。

ウ 横浜文化体育館

横浜市内唯一の中規模施設として、「国際ジュニア体操競技選手権大会」や「皇后盃全日本女子柔道選手権大会」などの国際クラスの大会から、市内屋内スポーツ大会（卓球、体操等）など市民レベルの参加型大会、中学校体育大会各種競技など幅広いスポーツを演出します。

また、JBL（日本バスケットボールリーグ）に加え、「bjリーグ」（日本プロバスケットボールリーグ）に正式参入が決定した横浜のプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」のゲームが予定されるなど、横浜のプロスポーツの新たなスポーツシーンを繰り広げます。

そして、「国立ポリショイサーカス」をはじめとするイベントを加え、スポーツ・文化各種イベントをバランス良く開催します。

特に、大会の開催や各種事業を展開することにより、プロからアマチュア、子供から高齢者まで横浜市民にとってあこがれの施設・魅力ある施設運営を目指します。

○教室事業

卓球や体操等のスポーツ教室に加え、絵画、書道、英会話等のカルチャー教室等、アンチ・エイジング応援プログラムを実施し、幅広い市民ニーズに応えられるようにします。

エ 横浜市平沼記念体育館

常設の観覧席（264席）を備えた、小規模の各種スポーツ大会の開催に適した施設である本施設の管理運営を行います。これまでは、団体利用を中心に利用されていましたが、個人で参加できるスポーツ教室を開始します。

また、記念棟にある「スポーツの父」として親しまれた故・平沼亮三氏の貴重な資料・記念品を市民の目に触れ易い1階ロビーにも展示スペースを拡大し、その功績を広く伝えます。

オ 横浜市青少年野外活動センター

市内の三ツ沢公園（神奈川区）、くろがね（青葉区）及びこども自然公園（旭区）のセンターは、3施設一体の指定管理施設として、気軽に野外活動を楽しむための情報提供やプログラム開発を連携、共同で行い、野外活動の普及振興を通して青少年の健全育成を推進していきます。

市外の道志（山梨県）のセンターにおいては、自然環境を生かした自然体験やスポーツの場を提供し、青少年の健全育成はもとより、幅広い市民層へ野外活動やスポーツの普及振興を図ります。

市内施設は、育児サークル、地域グループや家族利用に開放するなどの利用促進を図ります。道志は、道志村関係機関との連携、協働による広報・PRを行います。

○教室事業

幼児から大人までの幅広い市民層に対応した体験キャンプやファミリーキャンプ、スポーツ、文化活動等の野外活動教室の開催、野外炊事用の食材販売、ダッジオープンなどの用具レンタルを行い、利用促進及び利便性の向上を図ります。

カ 横浜市少年自然の家

赤城林間学園（群馬県）及び南伊豆臨海学園（静岡県）では、海や山などの恵まれた自然環境を生かした自然体験プログラムや集団宿泊体験の場を提供し、野外活動の普及振興を通して青少年の健全育成を図り、赤城林間学園は、地元昭和村との連携により周辺に広がる農地での農業体験を提供するなど体験プログラムを充実させます。

南伊豆臨海学園は、カッターやシーカヤックなど海での野外活動プログラムを充実します。

○教室事業

青少年キャンプやファミリーキャンプなど野外活動教室の開催をはじめ、地元食材を生かした特別料理の提供、スポーツ合宿や家族・グループへの開放といった利用促進及び利便性の向上を図ります。

キ 新横浜公園/日産スタジアム

横浜市体育協会・横浜マリノス・管理JV（ハリマビシステム他4社共同企業体）の3者が共同事業体を構成し、日産スタジアムを含む新横浜公園の管理運営を行います。

市民に夢と感動を与えることができる国際大会を誘致するだけでなく、公園内の各施設を活用し、地域スポーツの振興や市民の健康・体力増進に貢献すると共に、フリーマーケットでのカーボンオフセットの実施、イベント開催時のリユースカップの使用や雨水・再生水の利用、ISO14001の運用など、環境に配慮した「エコスタジアム」としての取組を推進します。

① 日産スタジアム(第1種公認陸上競技場)

国内最大の7万2千人を収容できるスタジアムの特性を活かし、サッカー、陸上競技等の国際大会を積極的に誘致・開催します。また、大会以外にコンサートやイベント等を開催し、施設の有効活用を図ります。

② 日産フィールド小机(第3種公認陸上競技場)

③ 日産ウォーターパーク(温水利用型の健康増進施設)

④ 北側園地運動施設(野球場、運動広場1・2、投てき練習場、テニスコート)

⑤ 新横浜公園内無料施設

(スケボー広場、インラインスケート広場1・2、バスケットボール広場)

⑥ しんよこフットボールパーク(JFA公認人工芝コート)

⑦ 北側園地新規オープン予定施設

(第3レストハウス、草地広場、草地広場トイレ棟)

さらに、スタジアムを使用するイベントだけではなく、公園全体を使用するような大型イベント(サイクルパークフェスティバル・スタジアム駅伝大会等)の開催、会員制陸上教室「日産スタジアム アスレティックアカデミー(NSAA)」や各種スポーツ教室の開催を通じて、市民の健康づくりと競技レベルの向上を図ります。

また、新横浜パフォーマンスなど地域との連携によるイベントやフリーマーケット、公園の園地を活用した市民提案型の活動(さくら草の水辺をつくろうプロジェクト、ヘイケボタルの里プロジェクトなど)、歳時記イベント(こいのぼり、七夕、餅つきなど)のようなスポーツ以外での公園利用の促進を図る他、施設を有効活用し、市民がより楽しんで参加できる新規事業の開拓を行います。

ク 横浜市スポーツ医科学センター

市民の健康づくりの推進・スポーツの振興・競技選手の競技力の向上を目的に、クリニック、大・小アリーナ(体育館)、25mプール、トレーニングルーム、研修室などを併設した施設の運営を行います。

① スポーツプログラムサービス(SPS)

医学的検査・運動負荷試験・体力測定の実施結果により、生活・栄養・運動について、医師・管理栄養士・スポーツ科学員などの専門スタッフがアドバイスを行うスポーツ版人間ドックを実施します。

② クリニック(内科・循環器内科・整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科)

今年度から循環器内科・スポーツ整形外科を標榜科目に加え、一般的な内科・整形外科からスポーツ関連の領域に対する診察まで、スポーツドクターなどの資格を持つ医師が診察を行います。また、各科ともに疾病の予防・改善や症状の緩和・消失に運動療法を積極的に取り入れます。

リハビリテーション科については、患者数増加に対応するため診療スペースの拡大と職員増員を図り、市民ニーズの充足及び一層の安全・安心な医療提供を実現します。

特定健康診査・特定保健指導については、専門スタッフによる組織的なサポート体制の下で、横浜市国民健康保険加入者の受託機関として受入れを行います。

③ メディカルエクササイズコース(MEC)

内科的・整形外科的疾患を抱え、積極的に運動することで改善が望める方を対象にした医学的運動療法教室。アリーナ・プールの2コースがあり、医師の運動処方に基づいて、専門の資格を持つ指導員が運動指導を行います。

④ 教室事業

1年間を通じて体操・水泳・トレーニングのスポーツ教室を開催します。また、1年を4期に分けて太極拳・フラダンス・社交ダンス・ヨガなどの健康教室を行います。

また、メタボリックシンドロームの予防（生活習慣病の改善）として、減量教室や、ロコモティブシンドロームの予防（運動器機能の改善）トレーニングとしてのロコモ教室など、スポーツ医科学に関する最新のニーズを反映させた教室を開催します。

⑤ 競技力向上事業

競技選手の競技力向上をサポートするため、地元のプロや実業団のスポーツチームやトップアスリートを中心として、メディカルチェックや各競技に則した専門的な体力測定、スキルチェックなどを行います。

また、横浜市ジュニア競技力向上事業の一環として、横浜市の各競技団体や中学校運動部のジュニア競技者を対象としたジュニアSPSやジュニア医科学マルチサポートなどを実施します。

⑥ その他

- 研修室・会議室、大・小アリーナの貸出
- トレーニングルーム、25m プールの個人利用
- 広報誌やホームページを通じたスポーツ医科学情報の提供

- スポーツ医科学に関する研究及び研究成果の学会等での発表
- スポーツセンター等でのスポーツ医科学に関する市民向け講演
- 市体協職員に対するスポーツ医科学研修、運動療法の実践指導

ケ 屋外・屋内プール

屋内プール6施設（旭、港南、栄、保土ヶ谷、都筑、金沢プール）及び屋外プール2施設（横浜プールセンター、本牧市民プール）の運営を行い、市民のスポーツ・レクリエーションの普及・振興、健康増進に寄与します。

幅広い市民層に安全・安心・快適にご利用いただくため、日々の安全管理の徹底に努めるとともに、気軽に参加できる教室やイベントの開催等により利用促進を図ります。

○教室事業

子供の体力向上や健康増進を目的とした水泳教室の充実を図るとともに、空き室を利用してのヨガ等の教室を開催します。

屋外プールでは、水での事故防止や親子で参加できるイベントを開催するほか、子ども達とのプールサイド緑化などにより施設の魅力アップを図っていきます。

コ テニスガーデン

緑（10面）、根岸（9面内インドア3面）及び泉中央テニスガーデン（11面）において、テニススクールの開催や貸しコートの運営を行い、市民のスポーツの普及振興に努めます。また、ジュニア及び一般初級者から上級者など利用者のニーズに合わせたテニススクールを開催するほか、貸しコートの利用においても積極的なPRにより、利用促進を図っていきます。

サ 鶴見川漕艇場

鶴見川漕艇場において、ボート・カヌーの利用、貸出し等の管理運営を行い、水上スポーツ・レクリエーションの普及・振興に寄与します。また、より多くの市民が気軽に参加できるボート等の教室を定期的に開催し、利用促進を図ります。

シ 横浜みなとみらいスポーツパーク

みなとみらい21地区60街区に、財団法人日本サッカー協会公認の人工芝フィールドや会議室を備える横浜みなとみらいスポーツパークの運営を行い、市民スポーツの振興を図ります。

人工芝フィールドではサッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等の一般の利用団体とともに、関係団体との連携を深め、大会・イベントの誘致を図るとともに、各種スポーツ教室を開催します。

○教室事業

会議室においては、ヨガ教室やピラティス教室などのスポーツ教室を開催する。また、施設と周辺環境の有効利用や市民の健康づくりに寄与するため、引き続きランニングステーションの運営を行います。

ス たきがしら会館

平成 23 年 7 月 1 日付で横浜市市民局所管となる「たきがしら会館」について、プロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」の練習場、及び近隣地域住民の方々を対象とした一般利用開放施設とすることとなり、その管理運営について当体育協会に協力要請がありました。

これに応じ同館を管理運営することで、市のスポーツ施策を支援します。

7 スポーツ団体等育成事業・協会運営事業【定款第 4 条第 1 項第 1 号、第 6 号】

(1) スポーツ団体育成事業

ア 交流事業

横浜市のスポーツの分野で活躍・功労のあった方々及びスポーツ関係者との交流促進のため、「新春横浜スポーツ人の集い」を開催します。

開催日：平成 24 年 1 月 20 日(金)

会場：横浜文化体育館

参加者数：1,300 人

イ スポーツ表彰事業

各種スポーツ大会において、顕著な成績をおさめた個人・団体やスポーツ振興に寄与した個人を表彰する横浜スポーツ表彰を実施します。また、教育委員会表彰等の各種表彰への推薦を行います。

(2) 協力町村来浜事業

教育施設協力町村児童受入れ事業を実施します。(2 町村 参加者 150 名)

少年自然の家が設置されている、昭和村（群馬県）及び南伊豆町（静岡県）の児童に横浜への理解を深めるための事業を実施します。

(3) 協会運営事業

ア スポーツ振興基金の運用

① よこはまスポーツ振興基金の運用

かながわ・ゆめ国体横浜市実行委員会からの寄付金を基に設置した「よこはまスポーツ振興基金」を横浜市、学識経験者等で構成する運営委員会により運用します。

② ワールドカップ決勝戦開催記念基金の運用

横浜市からの補助金を基に、「2002 F I F A ワールドカップ」の決勝戦開催を記念した基金を、横浜市、(社)横浜サッカー協会等で構成する運営委員会により運用します。

イ 駐車場の経営

横浜アリーナに近接する新横浜駐車場（北及び立体）ほか、3箇所（根岸、東神奈川、馬場）の駐車場の経営を行います。

ウ 創立 100 周年記念事業の準備活動

平成 41（2029）年の創立 100 周年記念事業等の実施に向け、引き続き準備を行っていきます。

エ 危機管理体制の取組

市民が安全・安心・快適に施設利用ができるよう、市民の身近なスポーツセンター等の施設利用に対する日常の危機管理体制を整えるとともに、日産スタジアム及び横浜国際プール並びに横浜文化体育館等のイベント開催時の危機管理体制を強化整備します。

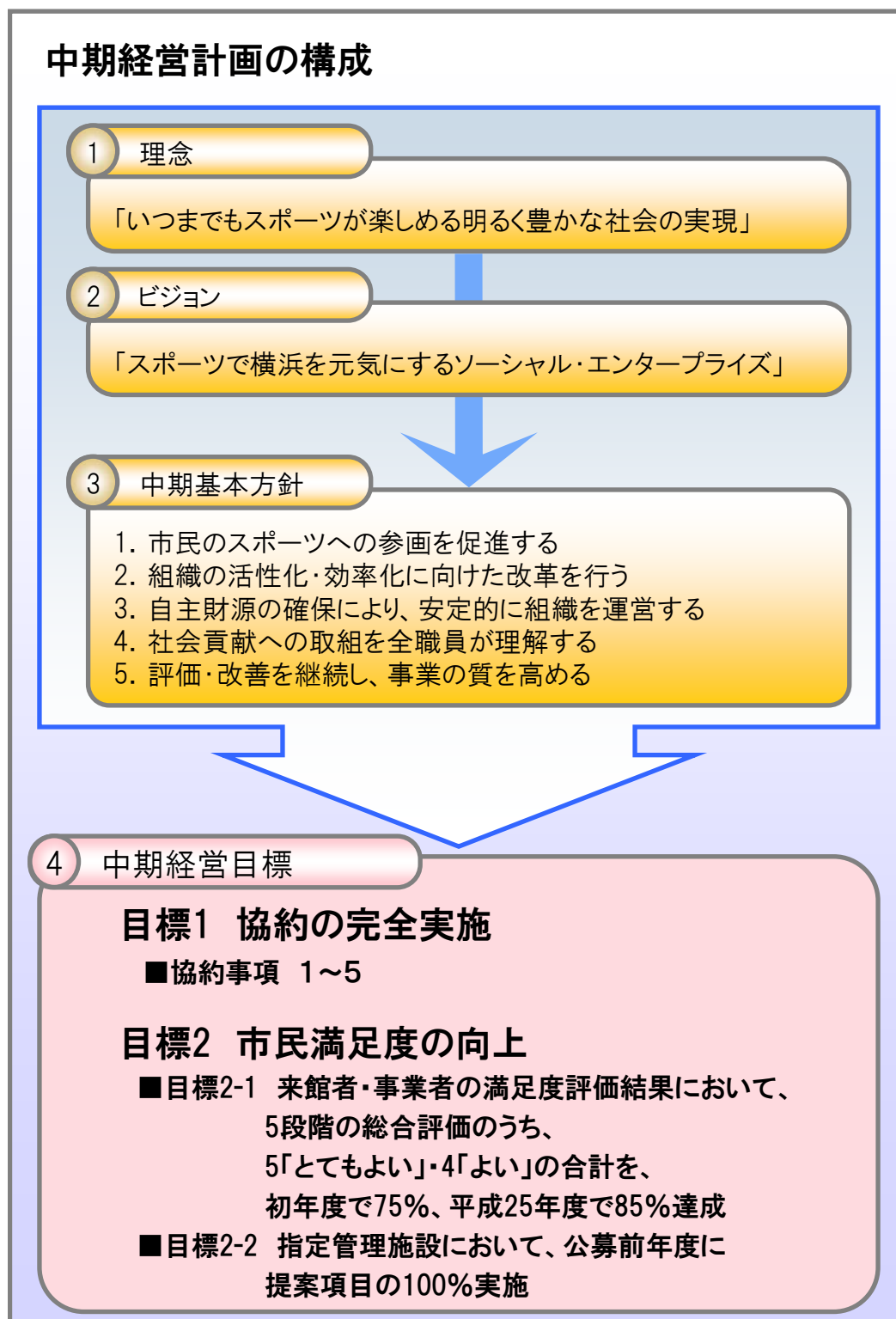
IV 協約

横浜市との間で締結した協約の達成は、当協会の活動目標の基本となるもので、必達目標となります。

【協約事項1】		評価指標 (比重)	評価指標の推移		
			23年度	24年度	25年度
公	スポーツ大会・イベント、教室事業等の参加者数を含む横浜市体育協会が管理運営する施設利用者数を毎年1,000万人以上にします。	大会・イベント等参加者数及び施設利用者数	10,388,000人	10,636,000人	10,776,000人
【協約事項2】		評価指標 (比重)	評価指標の推移		
			23年度	24年度	25年度
公	市民主体の地域スポーツ活動を支援することで事業を展開する団体数を200以上にします。	活動団体・グループ数	160団体	183団体	208団体
【協約事項3】		評価指標 (比重)	評価指標の推移		
			23年度	24年度	25年度
公	スポーツ情報に関するホームページ総アクセス件数を3,100万以上にします。	ハマスポどっとコム アクセス数 (0.6)	8,700,000件	9,500,000件	10,500,000件
		体協HP アクセス数 (0.4)	19,307,000件	20,273,000件	21,287,000件
【協約事項4】		評価指標 (比重)	評価指標の推移		
			23年度	24年度	25年度
財	経常収益に対する自主的活動収益割合を59%以上にします。	経常収益対自主的活動収益比率	57.00%	58.60%	59.30%
【協約事項5】		評価指標 (比重)	評価指標の推移		
			23年度	24年度	25年度
業	自主自立化に向けた人材育成を進め、部長以上の固有管理職を4人以上にします。	固有管理職(部長以上)数	2人	3人	4人

V 中期経営計画

第2期中期経営計画では、第1期中期経営計画の総括や組織運営上の課題を踏まえ、以下の基本方針を掲げ、これら方針に沿った事業活動により中期経営目標の達成を目指します。





公益財団法人横浜市体育協会
〒231-0015
横浜市中区尾上町6丁目81番地
ニッセイ横浜尾上町ビル内
TEL 045-640-0011(代表)
FAX 045-640-0021